

寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議キャッチフレーズ
寒川町に 支え・支えられ＝「お互いさま」を増やしたい
「お互いさま」の中に 高齢者がたくさんいて欲しい
そのためには、
1あるもの探し、2あるもの活かし、3あるもの繋ぎ、
4必要なもの探し、5欲しいから自分でつくる
をお手伝いします！

令和3年度に立ち上げていきたい生活支援・介護予防サービスについて
～岡田県営住宅地域における生活支援サービスについて～

【経過報告】

令和元年7月の本会議において、生活支援コーディネーターとして、岡田県営住宅地域における高齢者の生活支援をメインのテーマとして取り扱うことを提案させていただき、その後、当該地域の自治会の会議等への参加や住民の話を聞く懇談会等に取り組んできた。

結果、この地域における高齢者の暮らしの中での困りごとは、

- ① 地域住民同士で気にかけて合いながら対応しているもの
- ② 地域住民同士で助け合うことが難しいもの

大きくこの2つがあることが分かった。

具体的には、前回の基盤整備推進会議でお示した資料の中で

① 地域住民同士で気にかけて合いながら対応しているもの

樹木の伐採、草刈りは、この団地の必須事項

→ 高齢者ひとり暮らしの方は自宅の対応も希望

- 各棟に1人、自主的に伐採、草刈りをしてくれる人がいる。(本人の意向を尊重、片付けの手伝い有)
- もくせい緑化クラブが発足。住民からボランティアを募り、エリアを分けて都合の良い時に実施。(調整役も配置し、システムの的に実施。自治会費からお礼対応あり)

住民が集える場があることの大切さ

→ 団地内の集会所で集まれる気軽さ。再開を待つ声がある

- ボランティアグループ「まるパク」が開催している「陽だまりカフェ」は、コロナで休止中。越公園のベンチ等で気軽な井戸端会議あり。老人会（栄寿会）はコロナと代表者の逝去があり休止中。
- 自治会活動として実施しているカラオケ、麻雀は、コロナで休止中。老人会（ニコニコクラブ）は月1回の集まりを再開。その後中止も。

② 地域住民同士で助け合うことが難しいもの

日頃からの安否確認、相談をつなぐ

→ 何かの時の相談先、つなぎ先を把握しておく必要性

- 民生委員（1名）から、平常時の安否確認の活動を実施できないか、自治会長に相談されている。
- 自治会長をはじめ、住民同士の気かけ合いの雰囲気がある。2名の民生委員もよく情報を把握され相談をつないでくださる。8050の住民や夜間や土日祝に相談したいときの窓口はどうすれば。

生活支援サービスを、どう始めるか

→ 高齢者ばかりの状況の中、自分たちで担うのは

自身の生活だけでも大変という高齢者が多い状況の中、住民同士の支え合いでの生活支援サービスを、どうやってつくりあげることができるか。若干の若い世代との支え合いは可能か

- 「もくせい緑化クラブ」は、まさに住民同士の支え合い1つの形。その情報にAも関心を示し、自治会長同士の情報交換を行った。今後、新たな発足があるか。また、自治会を超えての協力体制も可能か。
- 認知症サポーター養成講座を毎年開催し、自治会役員や住民が受講。認知症の人も安心して暮らしていけるようにするために、大切な積み重ね。「知る、理解する、できることをする」住民が心強い。

加えて、寒川町全体的にある「狭間の課題」が、高齢者が多い岡田県住地域では「重大な課題」になってしまう。

例えば…独居高齢者（身寄りなし）の入院時の手伝い、入院中の対応（衣類、カギ、必要物品等の届けや預かり）、入院中のペットの世話、通院に付き添って欲しい、夫婦のひとりが亡くなった後の死後事務の色々ができない等

これらの状況をふまえて ↓

【経過報告を受けての生活支援コーディネーターの提案】

- ① については、住民同士の助け合いの実践であり、今後もそのような助け合いが継続するように、必要に応じて関わらせていただく。
- ② については、当該地域の高齢者だけの問題ではなく、町全体の高齢者にとって課題となっている内容もあり、町全体で助け合う仕組みをつくることで、当該地域についても支援の方法が増えることにつながるようにする。



次の項目で具体案

【令和3年度に立ち上げていきたい生活支援・介護予防サービス】

- 1 寒川なんでもお助け会、寒川スキマーズ、さむかわ隙間一ず。
寒川ハザマーズ、さむかわ狭間一ず。

内容：現状の制度やサービスでは対応できないことだけに特化して活動するボランティア。ボランティア登録は、個人でも団体・企業でもOK。基本は町内在住もしくは町内に拠点のある団体・企業の登録とし、「寒川町ならではの支え合い」を実現したい。趣旨に賛同しボランティアで活動したいという方には登録をしておいてもらい（データベースを作り、基本はデータで管理）、依頼が入ったらボランティアコーディネートを行う。
※支える側にも支えられる側にも高齢者がいる。

拠点：

スタート時点→社会福祉法人寒川町社会福祉協議会ボランティアセンター
経過を経て→拠点を担うことができる団体を発足させるか、既存の団体に託す

2 寒川フードバンク

内容：食品を「ゆずりたい」「受け取りたい」の受け止め、コーディネート。

※支える側にも支えられる側にも高齢者がいる。

拠点：

スタート時点→社会福祉法人寒川町社会福祉協議会
経過を経て→拠点を担うことができる団体を発足させるか、既存の団体に託す

3 寒川のお弁当でつながろう

内容：コロナの自粛生活も1年以上、飲食店は大変な状況が続き、また、家庭内での食事の負担も増え、人と人の関りの減少や孤食からくるフレイルも問題になっている。それらの問題を一気に解決するために、週に1回、町内の飲食店に、順番に、1個500円（税込み）のお弁当を出品してもらい、その販売やお届けをボランティアが協力して運営する。お弁当の販売をする場所は、その日のお弁当を出品するお店の前や駐車場OR寒川駅前公園など
※支える側にも支えられる側にも高齢者がいる。

拠点：

スタート時点→社会福祉法人寒川町社会福祉協議会
経過を経て→拠点を担うことができる団体を発足させるか、既存の団体に託す

4 私の緊急連絡先はココです！カードの作成

内容：シンプルに、「私の緊急連絡先」が書かれたものを、玄関等においておけるようにする。

方法：生活支援コーディネーターが作成、発行